

科目	単位	時間	履修学年	講師名
病態治療各論 I	1	30	1	
ねらい	人体の機能を基本とし、呼吸器、循環器系疾患の主要症状、病態及び関連した検査・治療について学ぶ。			
回数	授業内容	授業方法		
1回目	【呼吸器】(14時間) 1. 症状とその病態生理(喀痰、血痰、喀血、咳嗽、胸痛、呼吸困難、他覚症状) 2. 検査と治療・処置(血液検査、喀痰検査、胸水検査、画像診断、内視鏡検査、生検、呼吸機能検査、睡眠時モニタリング、吸入療法、酸素療法、人工呼吸療法、呼吸理学療法、気道確保、胸腔ドレナージ) 3. 疾患の理解 1) かぜと急性気管支炎、インフルエンザ、肺炎、結核 2) 間質性疾患、気道疾患、肺血栓塞栓症、呼吸不全、呼吸調節に関する疾患 3) 肺腫瘍、肺・肺血管の形成異常、胸膜・縦隔・横隔膜の疾患、肺移植、胸部外傷 4. 呼吸器外科(開胸術、胸腔鏡手術)	講義		
2回目		講義		
3回目		講義		
4回目		講義		
5回目		講義		
6回目		講義		
7回目		講義		
1回目	【循環器】(15時間) 1. オリエンテーション・グループ決め・テーマ割り振り 2. 循環器総論・第3回の発表準備 3. 発表：狭心症・心筋梗塞、質問、第4回の発表準備 4. 発表：心不全、質問、第5回の発表準備 5. 発表：高血圧、質問、第6回の発表準備 6. 発表：心臓弁膜症・心筋症など、質問、第7回の発表準備 7. 循環器総論、発表：不整脈、質問 8. 血管疾患、総括、試験について 終講試験(45分)	講義・演習		
2回目		講義・演習		
3回目		講義・演習		
4回目		講義・演習		
5回目		講義・演習		
6回目		講義・演習		
7回目		講義・演習		
7.5回目		講義		
15回目(45分)	試験			
教科書	系統看護学講座 専門分野II (医学書院) : 成人看護学②呼吸器 : 成人看護学③循環器			
評価方法	筆記試験(1時間 [45分間] : 100点) : 50点+50点			
備考	~発表形式 Power point、Word、模造紙(5枚以上)。いずれも内容に沿ったレジメを作ること			